

～横浜市とセブン-イレブン・ジャパン～
『地域活性化包括連携協定』を締結
～横浜市の振興、横浜ブランドの向上、災害対策等 5 分野で相互連携開始～

横浜市（市長 中田 宏）と株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都、代表取締役社長 最高執行責任者<COO>山口 俊郎）は、2009 年 2 月 19 日（木）、横浜市の振興や横浜ブランドの向上、災害対策等 5 分野において相互の連携を強化し、横浜市内における地域の一層の活性化に資する『地域活性化包括連携協定』を締結いたします。

記

1. 協定の名称 『地域活性化包括連携協定』

2. 協定締結日 2009 年 2 月 19 日（木）

3. 協定締結の目的

横浜市とセブン-イレブン・ジャパンの、地域活性化に向けた緊密な相互連携・共創の取組による、地域活性化および市民サービスの向上

4. 連携事項

上記の目的を達成するために、次の項目について連携し協力していきます

- ① 横浜に暮らす市民が、安全で安心して生活できるまちづくりと
市民サービスの向上に関すること
- ② 地域社会、産業の活性化と横浜ブランドの向上に関すること
- ③ 横濱開港 150 周年記念事業に関すること
- ④ 横浜の環境問題対策に関すること
- ⑤ 横浜の災害対策に関すること

<ご参考>

横浜市内のセブン-イレブン店舗 269 店舗（2009 年 1 月末現在）

具体的な連携事項について

(1) 横浜に暮らす市民が、安全で安心して生活できるまちづくりと市民サービスの向上に関すること

【実施事項】

- ①地域社会において安心して生活できる環境作りについて
 - ハマハグへの協賛と子育て支援に関する協力の実施、サービスの提供
 - セブン-イレブン店舗におけるセーフティステーション活動を通じた地域の安全・防犯対策
 - ・子供 110 番、子供女性の駆け込み対応
 - ・各警察署と連携し、パトロールを含めた協力体制を強化
 - ・防犯カラーボール・防犯楯の店内設置、警備会社との連携体制（セブン銀行 ATM）
 - セーフティステーション活動を通じた、青少年健全育成への取組み
 - ・未成年への酒類、煙草の販売禁止（年齢確認の徹底）
 - ・18 歳未満への成人向け雑誌の販売、閲覧禁止、区分陳列、表示
 - ・少年、少女の非行防止に向け、近隣住民の迷惑となる行為については警察と連携を図る
 - 市内の小中学生を対象とした、職場体験、社会科授業の実施協力
 - セーフティステーション活動を通じて、高齢者、障害者の保護、介護補助の実施
 - ・認知症の理解を深め、徘徊高齢者の保護や通報等の実施
 - ・セブン・ミールサービスの提供
 - ・買い物困難者に対しての商品配達サービスの実施

②健康増進、食育に対する事項について

- 保存料、合成着色料の不使用と、健康に良い商品開発と商品の販売を実施
- 弁当・惣菜のカロリー、栄養成分、アレルギー物質の表示

【検討事項】

- 老人ホーム入居者を対象として買い物体験が出来るように出張販売の検討
- 高齢者、障害者の雇用等、就業支援について、積極的に支援
- 朝食キャンペーン等、食育におけるキャンペーンを通じた啓蒙活動の実施
- 栄養バランスを考え、地元の食材を使用した「食育対象商品」を開発
- 市政情報の広報に関すること

(2) 地域社会、産業の活性化と横浜ブランドの向上に関すること

【実施事項】

- 横浜市産の食材を使用した商品開発を積極的に進めるために、相互間での情報交換を行い、横浜市内のセブン-イレブンにおいて販売
 - ・横浜市内農畜産物を食材にした弁当の開発、販売
 - ・横浜にある老舗店とのコラボレーション商品の開発、販売
- 横浜ブランド商品の開発と販売
- はまっ子どうしの推奨
- 横浜市産加工食品を横浜市内セブン-イレブン 269 店舗（09 年 1 月末現在）で販売
- 横浜イベントプロモーションの協力（ポスター、パンフレットの設置、レシート広告等）
- 地元商店街との連携

【検討事項】

- 横浜デザインの『nanaco』カードの発行
- 横浜をデザインした商品の開発および販売
- 横浜市施設のチケットおよび横浜市主催イベントのチケットの販売の検討
- 横浜ブランドを有する農水産物、加工品、工芸品の販売
 - ・市内農産物の直売等（朝市の店頭での実施等）
- 文化振興や文化情報の発信
- 横浜市、セブン-イレブンのインフラを活用した新ビジネスの検討

(3) 横浜開港 150 周年記念事業に関すること

【実施事項】

- 横浜開港 150 周年記念事業の告知と開催にむけての協力
- 横浜開港 150 周年記念グッズ、たねまるグッズの販売
- 横浜開港 150 周年事業イベントチケットの取扱い
- 横浜開港 150 周年事業イベントの開催気運を盛り上げるために協力いただけるメーカー各社とのコラボレーション商品の開発、セブン-イレブン神奈川限定キャンペーンの実施

【検討事項】

- 横浜のロゴ、マスコットを使用した商品の開発および販売

(4) 横浜の環境問題対策に関すること

【実施項目】

- 配送車両の自主管理基準の作成、エコドライブ意識の向上による CO₂ 削減
- 店舗蛍光灯に Hf 型蛍光灯使用、連続調光装置導入による電力使用量削減
- レジ袋削減の取組みにおける、袋未使用の声掛け、エコバックの推奨と販売
- 環境にやさしい「竹」の割り箸への変更
- 省エネ型設備機器とノンフロン型冷却システムの導入
- 地域清掃への積極的な参加
- 「セブン-イレブンみどりの基金」による、環境団体や NPO 法人への支援（植樹事業支援）
- セブン-イレブン店舗設備への LED 照明の導入

【検討事項】

- セブン-イレブン店舗での販売期限切れのお弁当・惣菜の食品資源を、飼料化・堆肥化する循環型社会の推進検討
- レジ袋辞退者への『nanaco』ポイント付与
- G30 への協力

(5) 横浜の災害対策に関すること

【実施事項】

- 災害時における様々な対応についての連携・協力
 - ・災害時、徒歩帰宅困難者に対して水道、トイレ、周辺情報を提供
 - ・災害時に入手した被災状況等、情報のお客様への提供、行政や警察等への連絡
- 災害時に食料品や日用品の調達に協力・災害時における緊急物資に関する対応

以上